MonitorMouse

MonitorMouse

ユーザーズ·ガイド

タッチパネル・システムズ株式会社
http://www.tps.co.jp

MonitorMouse ユーザーズ・ガイド

目次

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
MonitorMouse は、マウス・ドライバをエミュレーションすることにより、タッチパネルでのウインドウ環境の操作を可能にするソフトウエアです。
マウスの左ボタンの操作（クリック、ドラッグ、ダブルクリック）をタッチパネル上で実現し、タッチパネル用のプログラミングは一切必要なく、現在ご使用のアプリケーションをそのまま操作する事ができます。

第１章　ご使用前に必ずお読みください

●README ファイル

それぞれのソフトウエアに添付されている README ファイルには、導入時の注意事項および MonitorMouse のインストールに関する情報を記述しています。
本書に記載されていない追加情報を記述しておりますので、インストールする前に、必ず README ファイルをお読みください。
* TouchTools では、メニューの「説明書の表示」ボタンを押すと、このファイルが表示されます。

●ユーザーズ ガイド

本書は、ご使用になられる MonitorMouse の対象となるハードウエア（DOS/V、PC-98、Macintosh）、及び、OS（Windows95/98、WindowsNT、Windows3.1、OS/2、MacOS）を熟知したコンピュータ熟練者向けに作成されています。

●タッチパネル用ソフトウェアご使用に際しての制限事項

タッチパネル用ソフトウェアには、現段階では対応しきれていない制限事項がございます。障害が発生した場合、「制限事項」に書き込まれている内容に関しては、サポートできませんのでご了承ください。

●対応タッチパネル

タッチパネルは弊社（タッチパネル･システムズ株式会社）製の超音波方式タッチパネル「インテリタッチ（Intelli Touch）」をご使用ください。

●タッチパネル・コントローラ

タッチパネル・コントローラについては、各コントローラに付属している「取扱説明書」をご覧ください。

* シリアル・コントローラを接続する際の RS-232C ケーブルはストレートケーブルをご使用ください。

* 本ソフトウエアに対応する弊社製コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。

●ダウンロード サービス

最新のソフトウエアは、米国 Elo TouchSystems 社の Web サイトよりダウンロードすることができます。URL は以下の通りです。

http://www.elotouch.com

日本語版は、弊社 Web よりダウンロードすることができます。

http://www.tps.co.jp

●注意事項

* 本ソフトウェアを導入することによって発生したトラブルに関しましては、弊社では責任を負いかねます。環境を元の状態に戻せるように、インストール前に、ご使用中のシステムのバックアップをお取りください。

* 弊社はお客様に対し、本書、及び、本ソフトウェアの使用又は使用不能から生じる如何なる損害（事業利益の損害、事業の中断、事業場所の損失、又は、その他の金銭的損害を含む）に関しての一切の責任を負わないものとします。

* 本書及び本ソフトウェアの内容に関しましては将来予告なしに変更することがあります。

* 本製品（ソフトウェア、マニュアルを含む）の一部あるいは全部について、いかなる方法においても無断で複写、複製は禁じられております。

* 本書に記述されている会社名、製品名等は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

第２章　動作環境、制限事項

この項では、必要最低限の動作環境と、現段階では対応しきれていないご使用に際しての「制限事項」を記述しています。

１．MonitorMouse for Windows95

◆動作環境

- タッチパネル：超音波表面弾性波方式インテリタッチ
- タッチパネル・コントローラ：2856-35x、5810、2310
- OS：Windows(R) 95/98
- システム装置：

  1つのシリアルポートまたは ISA-Bus スロットを搭載する DOS/V 機（AT 互換機）または NEC PC-9821X シリーズ

  ハードディスク空き容量：1MB 程度

* タッチパネル・コントローラを接続するシリアルポートは COM 1 を奨励。

◆制限事項

- DOS プロンプトの全画面表示、および、DOS モードには対応しておりません。
- タッチしたまま Windows95 を起動すると、MonitorMouse は起動されません。
- MonitorMouse と同じ割り込みアドレスを使用しているドライバまたはアプリケーションと同時に動作しません。
- 「MonitorMouse for Windows」からバージョンアップする場合は、「MonitorMouse for Windows95」をインストールする前に、「MonitorMouse for Windows」のアンインストールを行っておく必要があります。
- 標準の PS/2 マウスとの併用はできますが、ポインティングデバイスの種類によっては併用できない場合があります。
- Windows95/98 からのデバイスの設定でセットアップすることはできません。
- RS-232C 接続の場合、RS-232C を制御または割り込みコントローラを制御するドライバ、アプリケーションと MonitorMouse は同時に使用できない可能性があります。
- 拡張したシリアルポートに接続する場合、ポートごとに割り込みを設定できない、または、割り込みが無いポートでは、動作しない可能性があります。
- システムによってはタッチ音が出力されないことがあります。

● コンピュータの BIOS によっては、節電機能（ハイバネーション、レジューム等）で動作しなくなる場合があります。

● Windows98 でスタンバイ状態になった場合、タッチパネルでは復帰しないことがあります。運用中はスタンバイ機能を切っておくことをお奨めします。

● このソフトウエアでサポートしている弊社製タッチパネル・コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。機種によってはバスタイプのコントローラで何らかの障害が生じる事があります。ご注意ください。

● 本バージョンでは、マルチモニター（一台のコンピュータに複数のモニターを接続して表示する）には対応しておりません。

２．MonitorMouse for WindowsNT

◆動作環境

● タッチパネル：超音波表面弾性波方式インテリタッチ

● タッチパネル・コントローラ：

2856-35x、5810、2310、3801、

（1040EI01、1055EI01、1040EI02、1055EI02）

● OS：Windows(R) NT 3.51 以上

● システム装置：

1 つのシリアルポートまたは ISA-Bus スロットを搭載する DOS/V 機（AT 互換機）または NEC PC-9821X シリーズ（2nd CCU のみ）

ハードディスク空き容量：1MB 程度

* タッチパネル・コントローラを接続するシリアルポートは COM 1 を奨励。

◆制限事項

● intel 以外のプロセッサ（PowerPC、MIPS、Alpha 等）では動作しません。

● NEC PC-98 シリーズでは、95 年 4 月以降に出荷された PC-9821X シリーズで、RS-232C ポートのチャネル２として D-sub 9 ピンのコネクタが内蔵されているもので動作します。（「２ｎｄ　ＣＣＵ」を使用する事になります。）

● コマンド・プロンプトで実行されるアプリケーションには対応しておりません。

● WindowsNT を起動中にタッチし続けていると、WindowsNT は起動されません。

● システムによってはタッチ音が出力されないことがあります。

● シリアル（RS-232C）接続の場合は 5810、2310、3801EI00（2856-2J）コントローラ、バスタイプでは 2856-35 コントローラの御使用を奨励しています。

1040EI01、1055EI01、1040EI02、1055EI02 コントローラの場合は、付属の初期設定プログラムを実行する事により動作します。それ以外の古い型のコントローラでは、動作しない可能性があります。1040EI00, 1055EI00 コントローラでは、動作しません。

● MonitorMouse の IRQ､I/O ポートアドレス設定と ISA-Bus コントローラのジャンパ設定が違っていると、WindowsNT は起動されません。

● RS-232C 接続の場合、RS-232C を制御または割り込みコントローラを制御するドライバー､アプリケーションと MonitorMouse は同時に使用できない可能性があります。

● 拡張したシリアルポートに接続する場合､ポートごとに割り込みを設定できない､または、割り込みが無いポートでは、動作しない可能性があります。

● WindowsNT3.5、3.51、4.0 でシリアルポートに接続した場合、「イベントビューア - システムログ｣に MonitorMouse とシリアルドライバとの間に競合が発生している旨のメッセージが残りますが、システムの運用には全く影響ありません。

● 標準の PS/2 マウスとの併用はできますが、ポインティングデバイスの種類によっては併用できない場合があります。

● コンピュータの BIOS によっては､節電機能（ハイバネーション､レジューム等）で動作しなくなる場合があります。

● このソフトウエアでサポートしている弊社製タッチパネル・コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。機種によってはバスタイプのコントローラで何らかの障害が生じる事があります。ご注意ください。

● 本バージョンでは、マルチモニター（一台のコンピュータに複数のモニターを接続して表示する）には対応しておりません。

3．MonitorMouse for Windows DOS/V

◆動作環境

● タッチパネル：超音波表面弾性波方式インテリタッチ

● タッチパネル・コントローラ：

2856-35x、5810、2310、3801、

（1040EI01、1055EI01、1040EI02、1055EI02）

● OS：Windows(R) 3.1（DOS/V 5.0 以上）

● システム装置：

1 つのシリアルポートまたは ISA-Bus スロットを搭載する DOS/V 機（AT 互換機）

ハードディスク空き容量：1MB 程度

* タッチパネル・コントローラを接続するシリアルポートは COM 1 を奨励。

* 通常のマウスを併用して使用する場合は、マイクロソフトの DOS マウス・ドライバ「MOUSE.COM」が必要となります。

◆制限事項

● タッチしたまま Windows を起動すると、MonitorMouse は起動されません。

● 標準の PS/2 マウスとの併用はできますが、ポインティングデバイスの種類によっては併用できない場合があります。

● MOUSE.SYS は、サポートしておりません。MOUSE.COM のみ対応しています。

● MOUSE.COM の Version 9 を使用して MonitorMouse と通常のマウスを併用した場合、通常のマウスが正常には動作しません。

●「DOS プロンプト」では動作しません。

● システムによってはタッチ音が出力されないことがあります。

● RS-232C 接続の場合、RS-232C を制御または割り込みコントローラを制御するドライバー、アプリケーションと MonitorMouse は同時に使用できない可能性があります。また、割り込みコントローラを制御するドライバー、アプリケーションにより、アドレス設定などが変更されたときは MonitorMouse が動作しない可能性があります。

● 拡張したシリアルポートに接続する場合、ポートごとに割り込みを設定できない、または、割り込みが無いポートでは、動作しない可能性があります。

● MonitorMouse（ELODEV.EXE、MONMOUSE.COM）と同じ割り込みアドレスを使用しているドライバーまたはアプリケーションと同時に動作しません。

● Microsoft C Compiler のグラフィックスライブラリ（GRAPHICS.LIB）をリンクまたは system 関数を使用したアプリケーションソフトウェアでは MonitorMouse が動作しない可能性があります。

● グラフィックス・ドライバ等の影響により、タッチ座標がズレる可能性があります。

● 1055EI00 コントローラおよび 1040EI00 では、動作しない可能性があります。

● コンピュータの BIOS によっては、節電機能（ハイバネーション、レジューム等）で動作しなくなる場合があります。

● インストールされる MonitorMouse はマルチモニター(一台のコンピュータに複数のモニターを接続して表示する）には対応しておりません。マルチモニター対応機能のセットアップ方法は、MonitorMouse を解凍したディレクトリの MULTIPLE ディレクトリの「MULTIPLE.TXT」をお読みください。
● このソフトウエアでサポートしている弊社製タッチパネル・コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。機種によってはバスタイプのコントローラで何らかの障害が生じる事があります。ご注意ください。

4．MonitorMouse for Windows PC-98

◆動作環境

● タッチパネル：超音波表面弾性波方式インテリタッチ
● タッチパネル・コントローラ：
3801、（1040EI01、1055EI01、1040EI02、1055EI02）
● OS：Windows(R) 3.1（MS-DOS 5.0 以上）
● システム装置：
1 つのシリアルポートを搭載する NEC PC-9821X シリーズ（従来のシリアルポートのみ）
ハードディスク空き容量：1MB 程度
* タッチパネル・コントローラを接続するシリアルポートは COM 1 を奨励。
* 通常のマウスを併用して使用する場合は、マイクロソフトの DOS マウス・ドライバ「MOUSE.COM」が必要となります。

◆制限事項

●タッチしたまま Windows を起動すると、MonitorMouse は起動されません。
● Pentium 200MHz 以上のプロセッサやマルチプロセッサに対応したマザーボードを搭載した PC では動作しない可能性があります。
● PC-9821X シリーズの RS-232C ポートのチャネル２（D-sub 9 ピンのコネクタ）では動作しません。従来の PC-98 シリーズの RS-232C ポート（D-sub 25 ピンのコネクタ）で動作します。
● 標準の PS/2 マウスとの併用はできますが、ポインティングデバイスの種類によっては併用できない場合があります。
●「DOS プロンプト」では動作しません。

● システムによってはタッチ音が出力されないことがあります。

● RS-232C を制御または割り込みコントローラを制御するドライバー、アプリケーションにより、アドレス設定などが変更されたときは MonitorMouse が動作しない可能性があります。

● NEC 純正拡張ボード以外には対応しておりません。

● PC-9861K 拡張 RS232C ボート上のポートの 2（CH3）番目は、対応していません。

● 拡張 RS-232C ボートの 1（CH2）番目は、割り込みレベル INT0 以外で動作しません。INT0 を使用している拡張ボードと同時に動作しません。

● MonitorMouse（ELODEV.EXE、MONMOUSE.COM）と同じ割り込みアドレスを使用しているドライバーまたはアプリケーションと同時に動作しません。

● MOUSE.COM の Version 9 を使用して MonitorMouse と通常のマウスを併用した場合、通常のマウスが正常には動作しません。

● MOUSE.SYS は、サポートしておりません。MOUSE.COM のみ対応しています。

● インターバルタイマを使用しているアプリケーションと MonitorMouse は同時に使用できない可能性があります。

● Microsoft C Compiler のグラフィックスライブラリ（GRAPHICS.LIB）をリンクまたは system 関数を使用したアプリケーションソフトウェアでは MonitorMouse が動作しない可能性があります。

● BORLAND パラドックスエンジンを使用した場合は、ELODEV が動作しない可能性があります。

● LAN Manager のバージョンによっては、タッチパネル・ドライバが正常に動作しない場合があります。

● 1055EI00 コントローラおよび 1040EI00 では、動作しない可能性があります。

● コンピュータの BIOS によっては、節電機能（ハイバネーション、レジューム等）で動作しなくなる場合があります。

● エプソン社製の PC-98 互換機では、動作しません。

● このソフトウエアでサポートしている弊社製タッチパネル・コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。

● マルチモニター（一台のコンピュータに複数のモニターを接続して表示する）には対応しておりません。

5．MonitorMouse for OS/2

◆動作環境

- タッチパネル：超音波表面弾性波方式インテリタッチ
- タッチパネル・コントローラ：
  2856-35x、5810、2310、3801、
  （1040EI01、1055EI01、1040EI02、1055EI02）
- OS：OS/2 Warp
- システム装置：
  1 つのシリアルポートまたは ISA-Bus スロットを搭載する DOS/V 機（AT 互換機）
  ハードディスク空き容量：1MB 程度

* タッチパネル・コントローラを接続するシリアルポートは COM 1 を奨励。

◆制限事項

- タッチしたまま OS を起動すると、MonitorMouse は起動されません。
- シリアルコントローラは、シリアルマウスと併用できない場合があります。
- 標準の PS/2 マウスとの併用はできますが、ポインティングデバイスの種類によっては併用できない場合があります。
- 「Win-OS/2 全画面表示」では、タッチ座標がズレます。
- 「DOS/V セッション」には対応しておりません。
- 「OS/2 ウィンドウ表示」「PC-DOS ウィンドウ表示」「DOS/V ウィンドウ表示」等の各種コマンド・プロンプトで実行されるアプリケーションには対応しておりません。
- 1055EI00 コントローラおよび 1040EI00 では、動作しない可能性があります。
- システムによってはタッチ音が出力されないことがあります。
- 拡張したシリアルポートに接続する場合、ポートごとに割り込みを設定できない、または、割り込みが無いポートでは、動作しない可能性があります。
- RS-232C 接続の場合、RS-232C を制御または割り込みコントローラを制御するドライバー、アプリケーションと MonitorMouse は同時に使用できない可能性があります。また、割り込みコントローラを制御するドライバー、アプリケーションにより、アドレス設定などが変更されたときは MonitorMouse が動作しない可能性があります。

● コンピュータのBIOSによっては、節電機能（ハイバネーション、レジューム等）で動作しなくなる場合があります。
● インストールされるMonitorMouseはマルチモニター(一台のコンピュータに複数のモニターを接続して表示する）には対応しておりません。
● このソフトウエアでサポートしている弊社製タッチパネル・コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。機種によってはバスタイプのコントローラで何らかの障害が生じる事があります。ご注意ください。

6．MonitorMouse for Macintosh

◆動作環境

● タッチパネル：超音波表面弾性波方式インテリタッチ
● タッチパネル・コントローラ：5810、2310
● OS：Mac OS 7/8（漢字 Talk 7.5.3 以上）
● システム装置：
1 つのシリアルポート（モデムポートまたはプリンタポート）を搭載する
Power Macintosh
ハードディスク空き容量：1MB 程度

◆制限事項

● システム起動時や終了時にタッチすると、システムエラーが発生したり、次回起動時にタッチが効かなくなったりします。その場合は、一旦システムの電源を切ってから、起動しなおしてください。
● システムによってはタッチ音が出力されないことがあります。
● 他のドライバーや拡張機能にはコンフリクトを起こすものがあります。
● 節電機能（ハイバネーション、レジューム等）で動作しなくなる場合があります。
● Apple Open Transport/PPP 1.0 が多くのシリアルデバイスとコンフリクトを起こしていることが発見されました。MonitorMouse とも同様にコンフリクトを起こします。Open Transport 1.2 以降にアップグレードするか動作しないようにしてください。

● 漢字 Talk7.5.1、7.5.2 で、シリアル・コントローラを接続した場合、MonitorMouse が起動された状態で、メニューやアプリケーションから「システムの終了」または「システムの再起動」をさせると、再度タッチするか、コントローラの電源を切らないと、Macintosh の電源が落ちないという現象が発生する事があります。

その場合は、シリアル・デバイス・ドライバが「SerialDMA 2.0.2」以前のもの、または、存在しない事が考えられます。Apple からパソコン通信等で、機能拡張ファイル「SerialDMA 2.0.2」を入手して、シリアル・デバイス・ドライバをアップ・デートしてください。

漢字 Talk7.5.3 以降では、同現象は発生しません。

● インストールされる MonitorMouse はマルチモニター(一台のコンピュータに複数のモニターを接続して表示する）には対応しておりません。

● このソフトウエアでサポートしている弊社製タッチパネル・コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。

7．その他の注意事項

●弊社製コントローラは、プラグ・アンド・プレイ対応にはなっておりません。IRQ（2［9］～7）および I/O ポート・アドレスが他の周辺機器等の設定と競合している場合は動作しません。また、コンピュータの BIOS 設定で、コントロール接続先の IRQ にプラグ・アンド・プレイの機能が有効になっていると動作しない可能性があります。

●「MonitorMouse for Windows」は DOS/V 版、PC-98 版ともに、Windows 95 での動作は確認しております。動作の確認はしておりますが、これは Windows3.1 用のソフトウエアです。

●シリアル・コントローラを接続する際の RS-232C ケーブルはストレートケーブルをご使用ください。

●PC98-NX シリーズでは「MonitorMouse for Windows95」と「MonitorMouse for WindowsNT」のみがご利用いただけます。「MonitorMouse for Windows DOS/V」はご利用いただけません。

第3章　MonitorMouse for Windows95、MonitorMouse for WindowsNT

1．導入

MonitorMouse for Windows95 と MonitorMouse for WindowsNT の導入方法は、基本的にほとんど同じです。

* インストール前に、ソフトウエアに添付されている README ファイルを必ずご覧ください。インストール時の注意事項やトラブルシューティングに関するより詳細な情報を記述しております。

●MonitorMouse for Windows95 導入時の注意事項

* Windows 3.1 用のタッチパネル・ドライバ「MonitorMouse for Windows」をインストールしている場合は、「MonitorMouse for Windows95」をインストールする前に、必ず削除しておいてください。これがインストールされたままになっていると,Windows が正常に動作しなくなることがあります。手順については、「付録　MonitorMouse のアンインストール」をご覧ください。
* インストールが完了していない状態で、RS-232C 接続タイプのコントローラをポートに接続していると、Windows95/98 を起動したときに、「新しいハードウエア」ダイアログが表示されることがあります。この場合は「キャンセル」を選択してください。

●MonitorMouse for WindowsNT 導入時の注意事項

* 導入時は、「システム・ディレクトリへのファイルのコピー」と「レジストリ・ファイルの更新」を行います。これらの権利の無いユーザーでログオンしている場合（Administrators グループのメンバーとしてログオンしていない場合）には、導入できません。

1）エクスプローラ等でソフトウエアを解凍したフォルダ内の「SETUP.EXE」を起動してください。

＊TouchTools **のメニューでは「インストール」ボタンを押します。**

2）MonitorMouse のセットアップ・プログラムが起動されます。

3）画面の指示に従い「次へ」ボタンを押していってください。

4）「セットアップの選択」を行ってください。



●インストール

ファイルのコピーとコントローラの接続設定を行います。

初めてのインストールでは、これを選択します。

●接続設定

コントローラの接続設定のみを行います。

●アンインストール

ファイルと設定を削除します。

選択したら「次へ＞」ボタンをクリックします。

5）コントロ－ラと接続設定

接続するタッチパネルコントローラのタイプと接続方法を選択します。

IRQ や I/O ポート･アドレスを指定する場合(ISA-Bus コントローラのジャンパを変更する場合）や選択肢にないポート（拡張ポート）への接続は、「その他」を選択して詳細な設定を行ってください。

* ISA-Bus タイプ・コントローラをご利用の場合、タッチパネルで使用する IRQ（ハードウエア割り込み）は、コンピュータに組み込まれている他のデバイス（周辺機器）の IRQ と重複することのないように設定する必要があります。設定に関する注意事項を「付録A　ISA-Bus コントローラ（2856-35xx）の設定」に記述しておりますのでご覧ください。

6）画面の指示に従い「次へ」ボタンを押していくと、ファイルのコピーや設定が行われます。設定が完了したら、フロッピーディスクをドライブから取り出して、コンピュータを再起動してください。

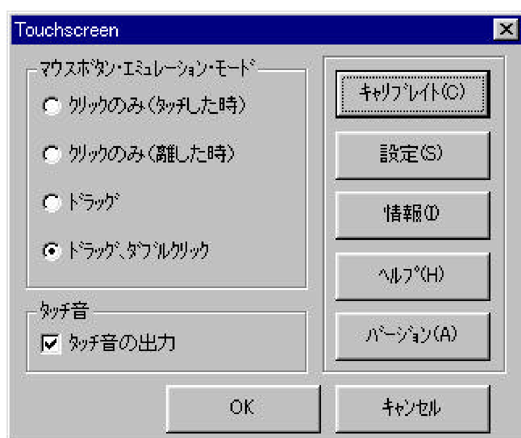
8）コンピュータ再起動後、コントロール・パネルから Touchscreen を起動して、キャリブレーション（位置補正）を行ってください。

キャリブレーションについては、後記の「MonitorMouse の設定」を参照してください。

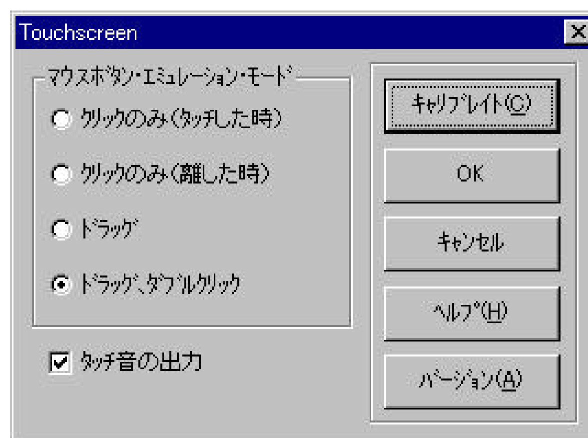
* 設定中にコントロールパネルが開いていると、セットアップが異常終了することがあります。その場合は、コントロールパネルを閉じてから、再度やり直してください。
* コントローラの接続設定が完了するまで、コンピュータは再起動しないでください。コントローラの接続設定が不完全のままですと、Windows が起動できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
* ISA-Bus コントローラを接続する場合のハードウエア割り込み（IRQ、I/O ポートアドレス）は、必ず MonitorMouse の設定に合わせてください。ISA-Bus コントローラのジャンパスイッチと MonitorMouse で設定されたハードウエア割り込みが違っていると、WindowsNT が起動できなくなります。ハードウエア割り込みを変更する場合は、MonitorMouse の設定を変更した後に、ISA-Bus コントローラのジャンパスイッチを変更するようにしてください。
* インストール後、コンピュータを再起動してもタッチパネルが動作しない場合は、README ファイルを熟読いただくことをお奨めいたします。

2．MonitorMouse の設定

コントロールパネルに登録された「Touchscreen」を起動すると MonitorMouse の設定画面が表示されます。



MonitorMouse for Windows95



MonitorMouse for WindowsNT

「キャリブレイト」（キャリブレーション、位置補正）

タッチパネルを利用する際には、必ず位置補正を行わなければなりません。

位置補正は、タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置を一致させるために行っておくものです。ディスプレイや解像度を変更した際には、必ず実行してください。位置補正を行う事により、個人の好み（視点）でのタッチ位置の調整を行なうこともできます。

「ｷｬﾘﾌﾞﾚｲﾄ」ボタンを押下すると画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が現れます。画面に現れる３点（左上、右下、右上）をタッチしてください。「OK」を押すとこの補正点は、レジストリファイルに保管され、以降は保管された補正データを使用する為、ディスプレイや解像度が変更されない限り、調整の必要はありません。

「設定」

タッチパネル・コントローラの接続方法を変更する設定画面が表示されます。

MonitorMouse for WindowsNT にはこの設定画面がありませんので、コントローラの接続方法を変更する場合には、セットアップ・プログラムの「セットアップの選択」で「接続設定」を選択して、設定を変更してください。

「マウスボタン・エミュレーション・モード」

マウス・エミュレーションのモードを４種類サポートしています。

●クリックのみ（タッチした時）
タッチした時をクリックとみなします。

●クリックのみ（離した時）
指を離した時をクリックとみなします。

●ドラッグ
ドラッギングもサポートします。

●ドラッグ、ダブルクリック
ドラッギングに加え、ダブルクリックもサポートします。

通常の Windows の操作を行う場合は「ﾄﾞﾗｯｸﾞ､ﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸ」が最も適しています。
複雑な操作（ドラッグやダブルクリック）を必要としないアプリケーションでお使いになられる場合は、「ｸﾘｯｸのみ」のモードに設定すると、不必要な操作ミスを回避できます。

「タッチ音の出力」

チェックされると、タッチする度にビープ音を出します。
（一部の機種では、機能しない事があります。）

●マウス・カーソルを非表示にするには..

「NULL カーソル」を使ってマウス・カーソルを非表示にする事ができます。
コントロールパネルから、「マウス」を起動して、「ポインタ」タブを選択します。「標準の選択」を選択し、「参照」ボタンを押すと、カーソルのリストが表示されますので、「Null.cur」を開いてください。「OK」か「更新」ボタンを押すと、標準のマウスカーソルが消えます。
WindowsNT3.5、3.51 では、コントロールパネルの「ポインタ」で同様の設定を行うことができます。

第４章　*MonitorMouse for Windows*

１．導入

DOS/V 版も PC-98 版も基本的な導入手順は同じです。

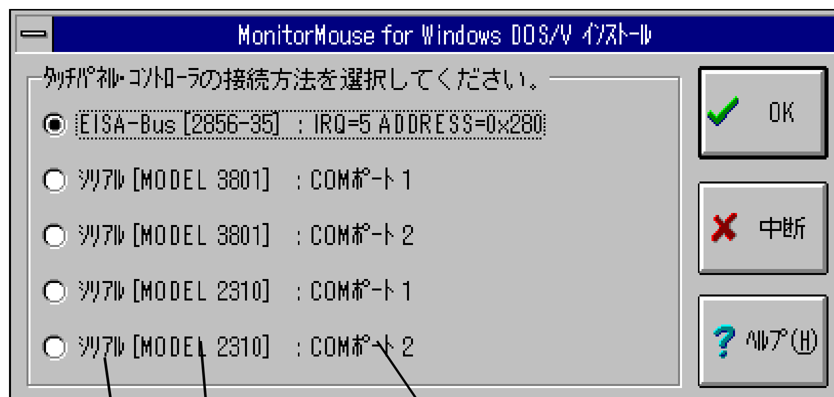
＊ インストール前に、ソフトウエアに添付されている README ファイルを必ずご覧ください。インストール時の注意事項に関するより詳細な情報を記述しております。

１）インストーラはハードディスク上の以下のファイルを書き換えます。
念のため、事前にバックアップをとっておく事をお奨めします。

AUTOEXEC.BAT
SYSTEM.INI（Windows ディレクトリ）
WIN.INI（Windows ディレクトリ）

２）ソフトウエアを解凍したディレクトリの「**INSTALL.EXE**」を起動してください。
＊ フロッピーディスクからインストールする場合は、フロッピーディスク内のファイルの一部を書き換えますので、プロテクトは解除してください。

３）コントローラの接続方法の選択画面が表示されます。

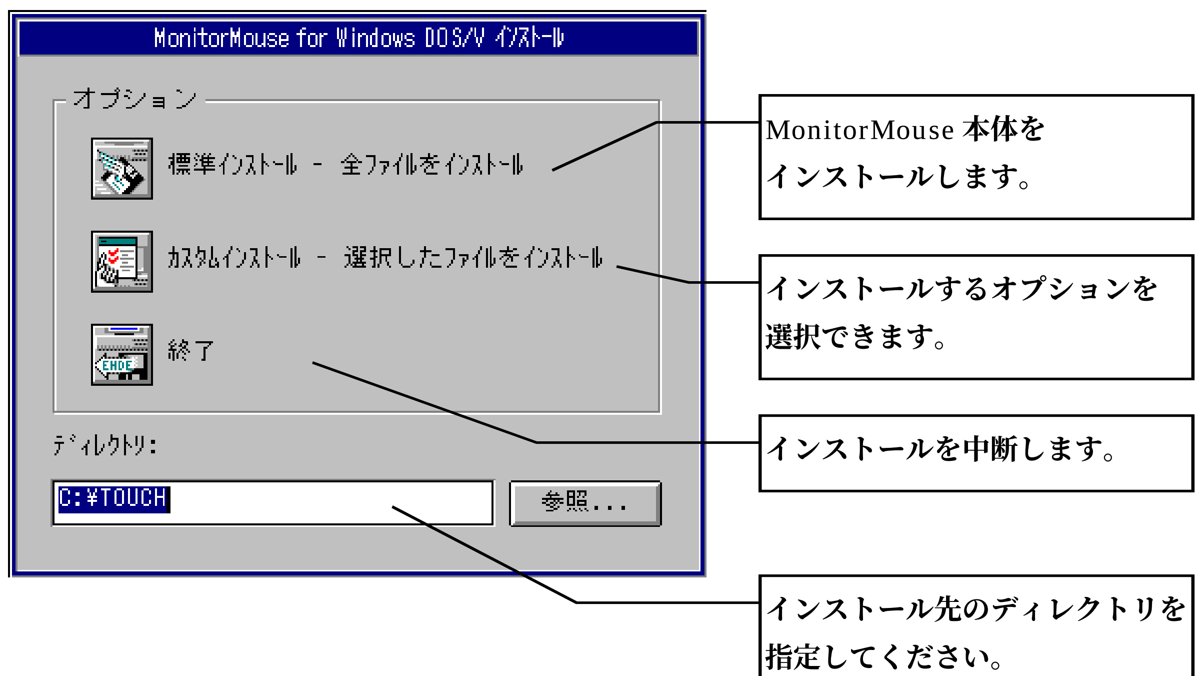


適当な接続方法を選択して、「OK」ボタンを押してください。
「ｷｬﾝｾﾙ」ボタンを押すと、インストールを中断します。
「HELP」ボタンを押すと、ヘルプが表示されます。

選択によって「AUTOEXEC.BAT」での、ドライバの起動方法が変更されます。
選択肢にない方法で導入する場合（コントローラ出荷時設定を変更する場合）は、一番近い接続方法を選択しておき、導入後に「AUTOEXEC.BAT」ファイルを編集してください。「AUTOEXEC.BAT」ファイルの変更点は後に記述しています。

４）インストール方法の選択画面が表示されます。

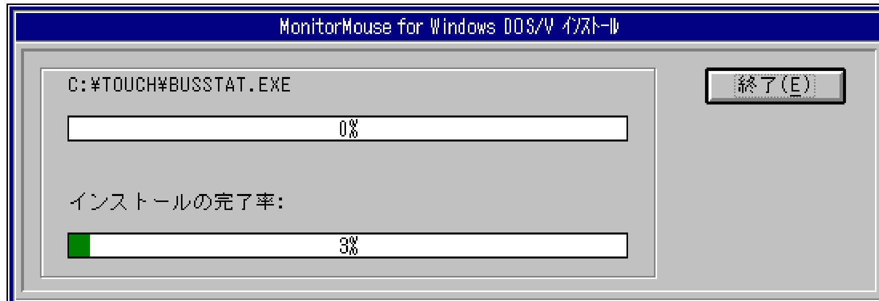
「SETUP.EXE」を起動した場合、ここから始まります。



カスタムインストールを選択した場合は、インストールするオプションの選択を行う画面が表示されますが、本パッケージでは「MonitorMouse for Windows」本体以外のオプションは存在しません。通常は標準インストールを選択してください。

* パッケージ構成内容は、出荷時の状況によって変更する事があります。README ファイルをお読みください。

5）ファイルのコピーを開始します。



6）SYSTEM.INI ファイル、AUTOEXEC.BAT ファイルの内容を書き換えます。

7）システムエディタを起動します。

ここで、変更された「AUTOEXEC.BAT」「SYSTEM.INI」ファイルの内容を確認してください。この作業は重要ですので、後記の「AUTOEXEC.BAT ファイルの内容確認」と「SYSTEM.INI ファイルの内容確認」の説明をよくお読みの上、ご確認ください。
PC-98 でご使用になられるお客様は「SYSTEM.INI」ファイルの更新が必要となります。

8）システムエディタを終了させると、インストーラが終了します。

9）コンピュータを起動しなおしてください。

シリアルタイプのコントローラを使用する場合は、コンピュータを立ちあげる前にコントローラの電源をONにしてください。

11）コンピュータ再起動後、コントロール・パネルから「Touchscreen」を起動して、キャリブレーション（位置補正）を行ってください。
キャリブレーションについては、後記の「MonitorMouse の設定」を参照してください。

２．AUTOEXEC.BAT ファイルの内容確認

インストーラは決められた設定しか行いません。AUTOEXEC.BAT ファイルの内容によっては、MonitorMouse が起動されない場合もあります。
以下の項目に該当する環境でご使用になられるお客様は、「AUTOEXEC.BAT ファイルの内容確認」作業が必要になります。

●既に MonitorMouse をインストールしているコンピュータにインストールした。またはインストーラを何度も起動した。
●Windows を「AUTOEXEC.BAT」ファイル内で自動起動している。
●通常のマウスを併用したい。
●選択肢にない接続を行いたい。
●タッチパネル・コントローラを出荷時以外の設定に変更した（IRQ や I/O ポート・アドレスを変更した）。

以下の項目をご確認ください。

AUTOEXEC.BAT ファイルの最終行に、以下の３行が追加されます。

```
C:¥TOUCH¥NOMOUSE
C:¥TOUCH¥ELODEV 4035,280,5 -C19,374,274,24,1,15
C:¥TOUCH¥MONMOUSE -M6
```

「C:¥TOUCH」はインストールしたディレクトリです。

１）以前インストールされた**MonitorMouse** の設定は上書きされません。
このインストーラを動かす度に、どんどん追加されていきます。同じ行が存在している場合、前回書き込まれた行は削除してください。

２）Windows 起動コマンドは後ろに移動させてください。

　Windows を自動起動させている場合など、Windows 起動コマンドが追加された３行の前にあると、Windows が終了した後に MonitorMouse が起動される事になります。

例

```
    :
C:¥TOUCH¥NOMOUSE
C:¥TOUCH¥ELODEV 4035,280,5 -C19,374,274,24,1,15
C:¥TOUCH¥MONMOUSE -M6
    :
WIN
```

３）MonitorMouse が起動される前に、DOS のマウス・ドライバが起動されていないと、通常のマウスを使用する事ができません。

　タッチパネルと通常のマウスを併用して使用する場合は、マイクロソフト互換の DOS マウス・ドライバ「MOUSE.COM」を起動しておく必要があります。「MOUSE.COM」は機種によって、その存在する場所が異なります。通常、WINDOWS ディレクトリや WINDOWS システム・ディレクトリ、DOS ディレクトリなどに存在しますが、Windows95 のみしか導入していない場合などには存在しない事もあります。「MOUSE.COM」は弊社で供給する事ができません。

　また、PC-98 シリーズでご利用の場合は、Windows3.1 の WINDOWS システム・ディレクトリ内の「MOUSE.COM」をご使用ください。

例

```
    :
C:¥DOS¥MOUSE.COM
    :
C:¥TOUCH¥NOMOUSE
C:¥TOUCH¥ELODEV 4035,280,5 -C19,374,274,24,1,15
C:¥TOUCH¥MONMOUSE -M6
    :
```

　「MOUSE.COM」を起動することにより、ダミーのマウス・ドライバ「NOMOUSE」が起動時にエラーメッセージを出力しますが、MonitorMouse は正常に動作しますので、無視してください。

　通常のマウスを併用して使用しない場合は、上記の変更をする必要はありません。

4）コントロ一ラの設定

［バスタイプのコントロ一ラ］

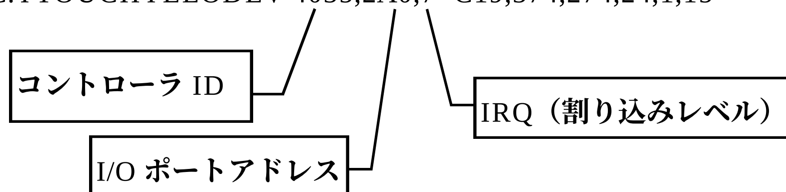
バスタイプ・コントロ一ラ（2856-35）は、出荷時設定では以下の様になっています。

IRQ（割り込みレベル）　：5
I/O ポートアドレス　　　：280h

IRQ（割り込みレベル）や I/O ポートアドレスの設定を変更する場合は、コントロ一ラのジャンパーを変更するだけでなく、ドライバの起動パラメタも合わせて変更する必要があります。
「ELODEV」行を変更してください。

例

C:¥TOUCH¥ELODEV 4035,2A0,7 -C19,374,274,24,1,15



バスタイプ・コントロ一ラ（2856-35）のコントローラ ID は「4035」、「-C」以下は座標補正値です。

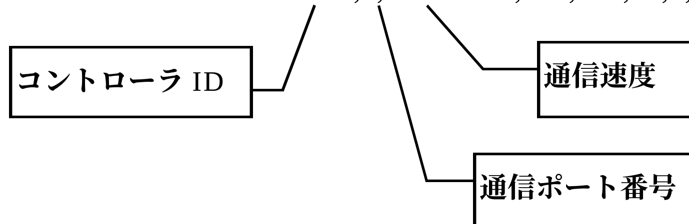
IRQ 変更時に設定できる番号を、弊社推奨の優先順に記述しておきますので、参考にしてください。

IRQ	デバイス
5	LPT2
7	LPT1
2	IRQ9 にマップ
3	COM2
4	COM1
6	フロッピー・ディスク

［シリアルタイプのコントローラ］

例

C:¥TOUCH¥ELODEV 4002,1,9600 -C19,374,274,24,1,15



コントローラ型番	ID
MODEL 3801	4002
MODEL 1055	4002
MODEL 1044	4002
MODEL 2310、5810（注）	2310

コントローラは通信ポートの COM1 から COM4 まで接続できますが、コンピュータ内での優先順位の関係上、COM1 への接続を奨励しています。それ以外に接続した場合は、タッチパネルの反応が遅くなる等の不具合が発生しやすくなります。

通信速度を変更する場合は、コントローラ側の設定も変更する必要があります。（通常は変更しないでください。）

注）「MODEL 2310、5810」は PC-98 シリーズではご利用いただけません。

３．SYSTEM.INI ファイルの内容確認

インストール後の SYSTEM.INI ファイル

```
[boot]
mouse.drv=monmouse.drv                    ①

[boot.description]
mouse.drv=MonitorMouse for Windows        ②

[386Enh]
mouse=vmmd.386                            ③
```

ＰＣ９８版の場合は、386Enh セクションの記述が違います。

```
[386Enh]
mouse=*vmd                                ③
Com1Base=-1                               ④
Com1Init=FALSE                            ④
```

①Windows 上でのタッチパネル・ドライバーを指定しています。
通常はマウスドライバの設定がされています（例えば「mouse.drv=mouse.drv」）が、その代わりに MONMOUSE.DRV が入ります。

②Windows セットアップでの表示をするために使用される項目です。
元々は「マイクロソフトマウス」と書かれていたり、単に「使用する」といった様にマウスドライバの名称が書かれています。

③３８６エンハンスドモードでの Windows のマウス処理をするために必要なデバイスドライバ「vmmd.386」のファイル名を指定します。
このファイルを使用しない場合は「DOS プロンプト」を全画面で立ちあげて、Windows の処理に戻ったとき、タッチパネルまたは通常のマウスが使えなくなってしまうということが発生します。
ＰＣ９８の場合、このファイルを使うことができません。インストーラは、この設定を変更しませんので、通常のマウスドライバの設定のままになっているはずです。

④ＰＣ９８は通信ポートを非常に頻繁に監視しようとするため、この項目を追加して、勝手な監視を無効にします。

タッチパネルを使用しない場合、または、タッチパネル以外でここで指定した通信ポートを使用する場合は、この２行を削除してください。

接続するシリアルポートを変える際には、COM2 の場合

Com2Base=-1
Com2Init=FALSE

といった具合に変更し、「Com1Base=-1」「Com1Init=FALSE」は削除してください。

④の設定をインストーラは行いません。書き直していただく必要があります。

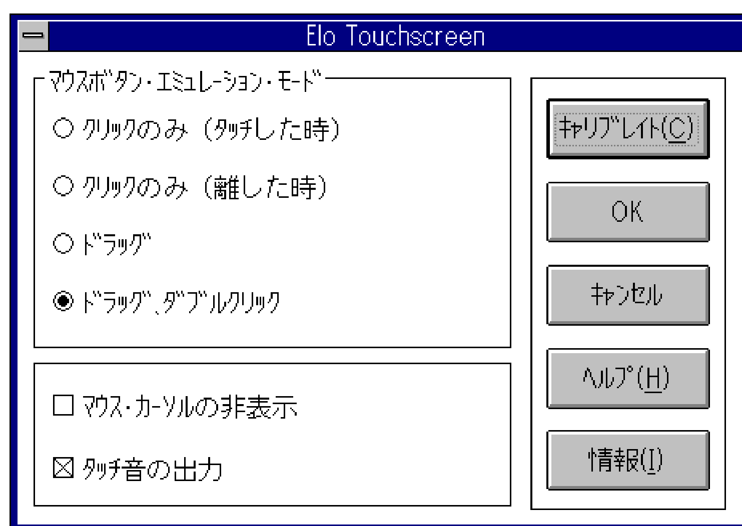
●注意事項

「MonitorMouse for Windows」は、インストール時に SYSTEM.INI ファイルを書き換えますが、Windows のマウスの設定を変更すると、「MonitorMouse for Windows」の設定がはずれてしまいます。

Windows3.1 では「Windows セットアップ」で設定しなおす事ができますが、「MonitorMouse for Windows」は Windows95 対応になっていない為、Windows95 上では「MonitorMouse for Windows」を設定しなおす事ができません。

４．MonitorMouse の設定

　コントロールパネルに登録された「Touchscreen」を起動すると MonitorMouse の設定画面が表示されます。



「キャリブレイト」（キャリブレーション、位置補正）

　タッチパネルを利用する際には、必ず位置補正を行わなければなりません。
　位置補正は、タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置を一致させるために行っておくものです。ディスプレイや解像度を変更した際には、必ず実行してください。位置補正を行う事により、個人の好み（視点）でのタッチ位置の調整を行なうこともできます。

　「ｷｬﾘﾌﾞﾚｲﾄ」ボタンを押下すると画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が現れます。画面に現れる２点（左上、右下）をタッチしてください。「OK」を押すと、この補正値は WIN.INI に保管され、以降は保管された補正データを使用する為、ディスプレイや解像度が変更されない限り、調整の必要はありません。

「マウスボタン・エミュレーション・モード」

マウス・エミュレーションのモードを４種類サポートしています。

●クリックのみ（タッチした時）
タッチした時をクリックとみなします。

●クリックのみ（離した時）
指を離した時をクリックとみなします。

●ドラッグ
ドラッギングもサポートします。

●ドラッグ、ダブルクリック
ドラッギングに加え、ダブルクリックもサポートします。

通常の Windows の操作を行う場合は「ﾄﾞﾗｯｸﾞ､ﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸ」が最も適しています。
複雑な操作（ドラッグやダブルクリック）を必要としないアプリケーションでお使いになられる場合は、「ｸﾘｯｸのみ」のモードに設定すると、不必要な操作ミスを回避できます。

「マウス・カーソルの非表示」

チェックされると、マウスカーソルの表示を隠します。

「タッチ音の出力」

チェックされると、タッチする度にビープ音を出します。
（一部の機種では、この機能が使用できない事があります。）

第５章　***MonitorMouse for OS/2***

１．導入

＊ インストール前に、ソフトウエアに添付された README ファイルを必ずご覧ください。インストール時の注意事項に関するより詳細な情報を記述しております。

＊「INST_OS2.CMD」は、OS/2 Warp を御使用の方向けの簡易インストーラです。
　REXX（OS/2 プロシジャー言語 2/REXX）に対応したコマンド・プログラムですから、REXX の搭載されていない環境では動作しません。また、OS/2 Version2.x 以前のバージョンに対応した設定はできません。
＊ 簡易インストーラを使用しない場合、簡易インストーラを使用したがタッチパネルが動作しない場合の設定方法は、README ファイルを参照してください。

　CONFIG.SYS を書き直しますので、インストール前にバックアップをとっておく事をお奨めします。

１）ソフトウエアを解凍したディレクトリ内の INST_OS2.CMD を実行してください。

２）インストール先のディレクトリ名の入力

MonitorMouse をインストールするディレクトリを 絶対パスで入力してください。

　そのままリターンキーを押すと、デフォルトのディレクトリになります。
　必要なファイルを指定されたディレクトリにコピーします。既にディレクトリが存在する場合は、ファイルを上書きします。

３）CONFIG.SYS ファイルのパス名の入力

OS/2 起動ファイル［CONFIG.SYS］の存在するディレクトリを 絶対パスで入力してください。

　そのままリターンキーを押すと、デフォルトのディレクトリになります。

４）タッチパネル・コントローラと接続方法の選択

タッチパネル・コントローラと接続方法を選択して下さい。
EISA-Bus ｺﾝﾄﾛｰﾗ (2856-35)
IRQ=5,ADDRESS=0x280__________ 1
ｼﾘｱﾙ･ｺﾝﾄﾛｰﾗ (MODEL 3801)
COM ﾎﾟｰﾄ1_______________________ 2
COM ﾎﾟｰﾄ2_______________________ 3
ｼﾘｱﾙ･ｺﾝﾄﾛｰﾗ (MODEL 2310)
COM ﾎﾟｰﾄ1_______________________ 4
COM ﾎﾟｰﾄ2_______________________ 5

適当な数字を入力してリターンキーを押してください。何も入力せずにリターンキーを押すと、「1」で設定されます。

この簡易インストーラでは、あらかじめ決められたパターンの接続方法しか設定できません。以下の接続パターンにあてはまらない場合は、とりあえず似たパターンでインストールを行って、後から「MM_OS2.TXT」を参照しながら設定を変更してください。

５）通常のマウスとの併用

通常のマウスと併用しますか？
併用する___________________________ Y
併用しない_________________________ N

MonitorMouse と通常のマウスを併用するかどうかを選択します。

６）確認画面が表示されます。続行すると、必要なファイルがコピーされ、CONFIG.SYS ファイルの内容が更新されます。

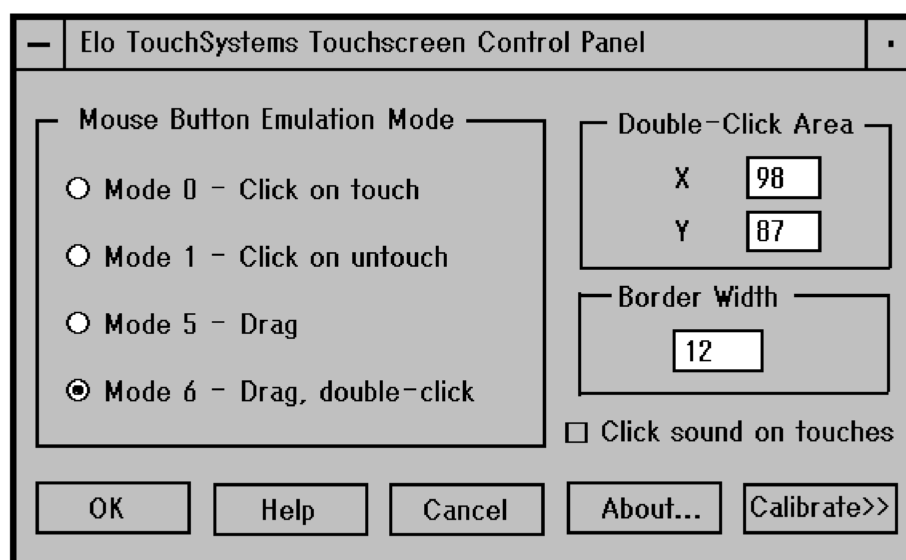
７）インストールが正常に終了したのを確認したら、コンピュータを起動しなおしてください。

８）コンピュータ再起動後、インストールしたディレクトリにある「ELOCAL2.EXE」を実行して、キャリブレーション（位置補正）を行ってください。

キャリブレーションについては、後記の「MonitorMouse の設定」を参照してください。

2．MonitorMouse の設定

インストールしたディレクトリにある「ELOCAL2.EXE」を起動すると MonitorMouse の設定画面が表示されます。



「**Calibrate**」（キャリブレーション、位置補正）

<u>タッチパネルを利用する際には、必ず位置補正を行わなければなりません。</u>

位置補正は、タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置を一致させるために行っておくものです。ディスプレイや解像度を変更した際には、必ず実行してください。位置補正を行う事により、個人の好み（視点）でのタッチ位置の調整を行なうこともできます。

「Calibrate>>」ボタンを押下すると画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が現れます。画面に現れる３点（左上、右下、右上）をタッチしてください。「OK」を押すと、この補正値は CONFIG.SYS ファイルに保管され、以降は保管された補正データを使用する為、ディスプレイや解像度が変更されない限り、調整の必要はありません。

「**Click sound on touches**」

チェックされると、タッチする度にビープ音を出します。

「Mouse Button Emulation Mode」

マウスボタンのエミュレーション・モードを４種類サポートしています。

●Mode 0 - Click on touch
タッチした時をクリックとみなします。
●Mode 1 - Click on untouch
指を離した時をクリックとみなします。
●Mode 5 - Drag
ドラッギングもサポートします。
●Mode 6 - Drag, double-click
ドラッギングに加え、ダブルクリックもサポートします。

通常のウインドウの操作を行う場合は「Mode 6」が最も適しています。
複雑な操作（ドラッグやダブルクリック）を必要としないアプリケーションでお使いになられる場合は、「Mode 0」又は「Mode 1」のモードに設定すると、不必要な操作ミスを回避できます。

「Double-Click Area」

通常のマウスではマウスポインターを動かさずにダブルクリックを行うことが出来ますが、タッチパネルでは２回目のタッチがどうしてもずれてしまいます。その結果、タッチパネルでは、ダブルクリックが難しいということになってしまいます。それを回避するために、この値を変更することによって、ダブルクリックを認識する範囲を設定します。単位はピクセルです。ただし、大きくしすぎると隣接するアイコンやボタンに反応してしまう可能性もありますので御注意ください。また、この値はディスプレイのサイズや解像度によって調整する必要があります。（設定後はシステムを再起動してください。）

「Border Width」

タッチパネルを使ってより簡単にウィンドウ・サイズを変更する為に、ウインドウのボーダー（枠線）を大きくします。（設定後はシステムを再起動してください。）

第６章　MonitorMouse for Macintosh

１．導入

＊ インストール前に、ソフトウエアに添付されている README ファイルを必ずご覧ください。インストール時の注意事項に関するより詳細な情報を記述しております。

＊ 以前のバージョンの MonitorMouse を導入している場合や、インストールを再度行う場合は、システムフォルダのコントロールパネル内の「Touchscreen」ファイルを削除してから新しいファイルをインストールしてください。コントロールパネル内に「Touchscreen」が２つ以上存在すると、MonitorMouse は正常に動作しません。

１）ソフトウエアを解凍したフォルダから、「Touchscreen」ファイルをシステム・フォルダ内のコントロールパネル・フォルダにコピーしてください。

２）一旦システムを終了させてください。

３）ふたたびシステムを起動し、コントロールパネルから「Touchscreen」を開きます。

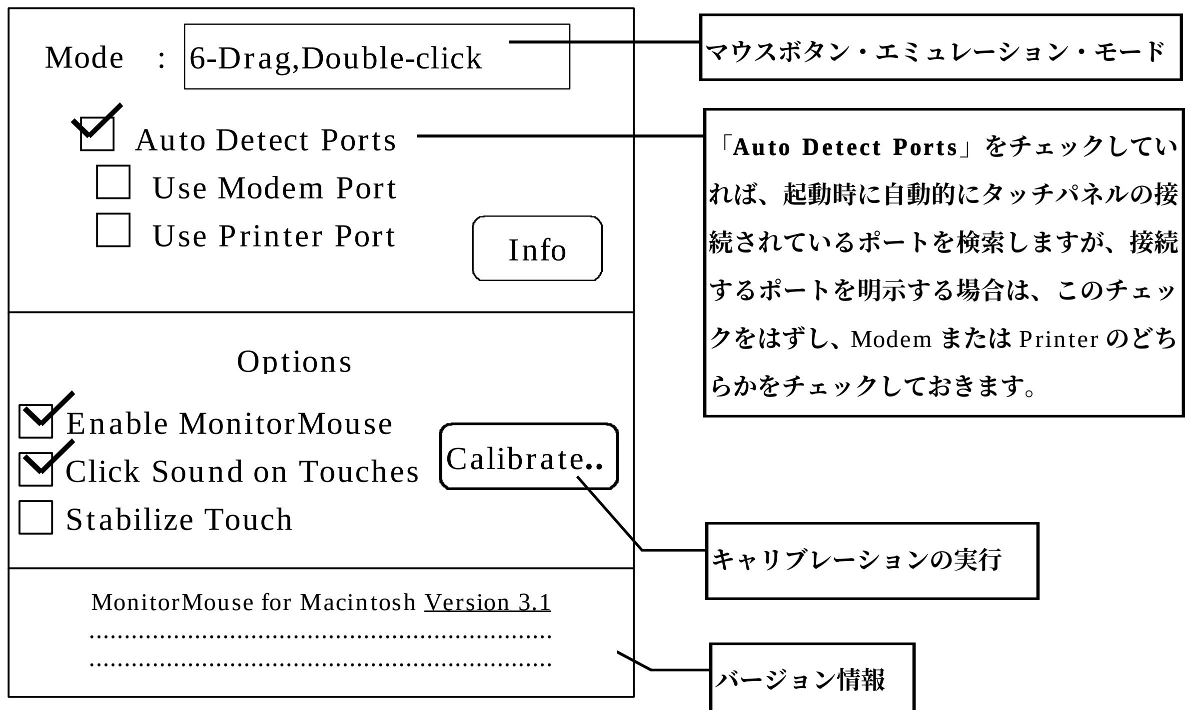
４）「Calibrate...」ボタンを押し、画面上の指示に従ってキャリブレーション（位置補正）を行ってください。
　キャリブレーションについては、後記の「MonitorMouse の設定」を参照してください。

＊ 「Touchscreen」で「Calibrate...」ボタンが押せない場合、キャリブレーション画面上のターゲットをタッチしても反応しない場合は、MonitorMouse 起動時のコントローラの自動認識に失敗している可能性があります。USB シリアルアダプタを使用していない場合は、「Auto Detect Ports」のチェックをはずし、「Modem Port」「Printer Port」のどちらか、または両方をチェックしておき、システムを再起動させてみてください。

＊ 他のデバイスがタッチパネルを接続しているポートを使用していないことを確認してください。「AppleTalk」がモデムポートやプリンタポートを使用していることが多くあります。ご確認ください。

2．MonitorMouse の設定

コントロールパネルから「Touchscreen」を起動すると、MonitorMouse の設定画面が表示されます。



「**Calibrate**」（キャリブレーション、位置補正）

タッチパネルを利用する際には、必ず位置補正を行わなければなりません。

位置補正は、タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置を一致させるために行っておくものです。ディスプレイや解像度を変更した際には、必ず実行してください。位置補正を行う事により、個人の好み（視点）でのタッチ位置の調整を行なうこともできます。

「Calibrate...」ボタンを押下すると画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が現れます。画面に現れる３点（左上、右下、右上）をタッチしてください。設定以降は保管された補正データを使用する為、ディスプレイや解像度が変更されない限り、調整の必要はありません。

「**Mode　:**」（マウスボタン・エミュレーション・モード）
　マウスボタンのエミュレーション・モードを４種類の中から選択できます。

●Mode 0 - Click on touch
　タッチした時をクリックとみなします。
●Mode 1 - Click on untouch
　指を離した時をクリックとみなします。
●Mode 5 - Drag
　ドラッギングもサポートします。
●Mode 6 - Drag, double-click
　ドラッギングに加え、ダブルクリックもサポートします。

　通常のウインドウ操作を行う場合は「Mode 6」が最も適しています。
　複雑な操作（ドラッグやダブルクリック）を必要としないアプリケーションでお使いになられる場合は、「Mode 0」又は「Mode 1」のモードに設定すると、不必要な操作ミスを回避できます。

「**Enable MonitorMouse**」
　このチェック・ボックスをオンにしていないと「MonitorMouse」は動作しません。

「**Click sound on touches**」
　チェックされると、タッチする度にビープ音を出します。（機種によってはサポートできないものもあります。）

「**Stabilize Touch**」
　このチェック・ボックスを ON にすると、ドラッグする際、タッチ地点を追いかける様にマウス・カーソルが移動します。
　細かいボタンを押す場合には、操作し易くなりますが、動作が遅いと感じられるかもしれません。

「**info**」
　コントローラやパネルの接続情報を表示します。

付録A　ISA-Bus コントローラ（2856-35xx）の設定

　タッチパネル・コントローラは、基本的には、出荷時設定のまま御使用ください。
　ただし、実際には、バスタイプ・コントローラを接続する場合に、接続先のコンピュータのシステム構成によっては、設定の変更を迫られる状況が発生する可能性が大いにあり得ます。

　タッチパネルで使用する IRQ（ハードウエア割り込み）は、コンピュータに組み込まれている他のデバイス（周辺機器）の IRQ と重複することのないように設定する必要があります。
　ISA-Bus タイプのコントローラをご利用時に発生する障害で最も多いものが「**IRQ** の問題」となっております。
　弊社のハードウエアがプラグ・アンド・プレイに対応していない為、IRQ（ハードウエア割り込み）の競合の有無に関わらず、MonitorMouse は起動されてしまいます。見た目には競合が発生しているかどうかはわかりません。
　「キャリブレーションの画面までは進むが、タッチしても反応が無い。」という場合、「MonitorMouse はコントローラを認識して正常に起動できたが、タッチパネルからのデータを受け取れない。」という状況に陥っています。この原因のほとんどが「IRQ の競合」です。
　OS によっては、ハードウエア・デバイスの状況を OS 上から確認できるものもありますが、（弊社製コントローラの様に）OS 上で確認できないものも存在します。
　上記の状況に陥った場合は、タッチパネル･コントローラのＩＲＱをすべて試していただく様お願い致します。

　IRQ は、2（9）～7 を使用できます。
注）コントローラのジャンパーを「2」にする場合は、MonitorMouse の設定は「9」にしてください。
注）設定を変更する際には、MonitorMouse の設定を変更してから、コンピュータの電源を落とし、コントローラのジャンパーを変更してください。先に MonitorMouse の設定を変更しておかないと、OS が起動できなくなる可能性があります。

　弊社製コントローラがそうである様に、出荷時の設定が「IRQ：5」になっている周辺機器も多く存在します。他の周辺機器の設定を変更してみる（または、外してみる）ということもお試しください。または、COM ポートを使わないのであれば、コンピュータの BIOS 設定で明示的に外して、そこにタッチパネルコントローラを設定する手もあります。

また、コンピュータの **BIOS** 設定において、タッチパネル･コントローラを接続しているＩＲＱに対して、プラグ･アンド･プレイの設定がＯＮになっていても、タッチパネルは動作しません
コンピュータの取扱説明書をご覧になり「プラグ・アンド・プレイに対応していない ISA-Bus 機器」の設定方法を確認してみてください。

* コンピュータ側の IRQ および I/O ポート・アドレスの設定の確認や変更は、コンピュータの BIOS セットアップ画面やコンピュータ付属のユーティリティを使用して行ってください。一部のデバイスには「デバイスマネージャ」や「WindowsNT 診断プログラム」等では確認できないものがあります。

バスタイプ・コントローラの割り込みレベル（IRQ）の設定を変更する際は、以下の表を参考にしてください。

弊社の奨励する優先順位

割り込みレベル（IRQ）

優先順位	IRQ	デバイス	ｼﾞｬﾝﾊﾟの位置
1	5	LPT2	4
2	7	LPT1	6
3	2	IRQ9 にﾏｯﾌﾟ	1
4	3	COM2	2
5	4	COM1	3
6	6	ﾌﾛｯﾋﾟｰ･ﾃﾞｨｽｸ･ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ	5

出荷時設定

コントローラのジャンパーの
左からの位置

DOS/V 機の各割込みに
通常割り当てられているデバイス

コントローラの設定方法は、それぞれのコントローラの「取扱説明書」をご覧ください。

付録B　MonitorMouse のアンインストール

●MonitorMouse for Windows95、MonitorMouse for WindowsNT の削除

　セットアップ・プログラムの「セットアップの選択」で「アンインストール」を選択して、削除作業を行ってください。

* それぞれのフロッピーディスク中の README ファイルには、手動でのアンインストール方法も記述しております。

●MonitorMouse for Windows の削除

　Windows3.1 用の MonitorMouse（MonitorMouse for Windows）にはアンインストールの機能が付いておりません。Windows3.1 用の MonitorMouse を削除する作業は、手作業で行っていただくことになります。

* 「MonitorMouse for Windows」をインストールしている場合は、「MonitorMouse for Windows95」をインストールする前に、必ずアンインストールを行う必要があります。最低でも「マウスドライバの再設定」を行っていないと、マウスが動作しなくなったり、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

１．マウスポインタの表示

　コントロールパネル「Touchscreen」上で「マウス・カーソルの非表示」機能を使って、マウスポインタを表示させないように設定している場合は、これを解除し、マウスポインタを表示させてください。

２．マウスドライバの再設定

＜Windows3.1 の場合＞

　Windows3.1 では「Windows セットアップ」でマウスの設定を通常ご使用のマウス・ドライバの設定（MonitorMouse 以外）に変更してください。

＜Windows95 の場合＞

（1）コントロールパネルから、「マウス」を起動して、「情報」タブを選択します。

（2）「変更」ボタンを押し、「デバイスの選択」画面で「すべてのデバイスを表示」させ、接続されているマウスの「モデル」を選択しなおしてください。（既に画面上で「選択」されていても、選択しなおす必要があります。）

（3）「OK」ボタンを押して「マウスのプロパティ」画面に戻ったら、「閉じる」ボタンを押します。

ここで「閉じる」ボタンが無かった場合は、2 の作業で一旦別の「モデル」を選択して、「閉じる」ボタンを確認してから、接続されているマウスの「モデル」になおしてください。

（4）すると「再起動しますか？」と聞いてきますので、「はい」を押して再起動してください。

＜Windows98 の場合＞

（1）コントロールパネルから、「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブを選択します。

（2）一覧の「マウス」の中にある接続されているマウスの「プロパティ」を開きます。

（3）「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」ボタンを押してください。

（4）「デバイスドライバの更新ウイザード」画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

（5）検索方法を聞いてきたら「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧…」を選択し、「次へ」ボタンを押します。

（6）一覧が表示されますので、「すべてのハードウエアを表示」させ、接続されているマウスの「モデル」を選択しなおしてください。

（7）「次へ」ボタンを押していき、マウスドライバの更新が完了したら、指示に従って、システム装置を再起動します。

3．ファイルの削除

・インストール・ディレクトリ（デフォルトは「¥TOUCH」）

ディレクトリごと全て削除してください。

・Windows ディレクトリの以下のファイル

「ELO.BMP」「CURSOFF.EXE」

・Windows の SYSTEM ディレクトリの以下のファイル

「ELOCALW.CPL」「ELOCALW.HLP」「MONMOUSE.DRV」

「OEMELO.INF」「VMMD.386」

4．AUTOEXEC.BAT ファイルの変更

タッチパネル・ドライバ（NOMOUSE、ELODEV、MONMOUSE）起動コマンドを削除してください。

例）

C:¥TOUCH¥NOMOUSE

C:¥TOUCH¥ELODEV 4002,1,9600 -C19,374,274,24,1,15

C:¥TOUCH¥MONMOUSE -M6

通常のマウスを併用してご使用の場合は、「NOMOUSE」の代わりに「MOUSE.COM」の起動を行う様になっていますが、マウスドライバの再設定でWindows95/98 上のマウスドライバを設定した場合は、これは必要なくなりますので、「MOUSE.COM」起動の記述も削除します。

* AUTOEXEC.BAT ファイルの編集には、システム・エディタ（「ファイル名を指定して実行」で Windows の SYSTEM ディレクトリ中の「SYSEDIT.EXE」を実行）を使用すると便利です。

●MonitorMouse for OS/2 の削除

1．CONFIG.SYS ファイルの変更

「MONMOU」で検索し、下線部分を削除してください。

例

<u>REM</u>　DEVICE=C:¥OS2¥BOOT¥MOUSE.SYS

<u>DEVICE=C:¥TOUCH¥MONMOUxx.SYS　4035,280,5　-s-　-c.....</u>

<u>DEVICE=C:¥OS2¥BOOT¥MOUSE.SYS　STYPE=ELOMOU$</u>

タッチパネル・ドライバを削除し、通常のマウスの設定に戻しています。

2．ファイルの削除

インストール・ディレクトリ（デフォルトは「¥TOUCH」）をディレクトリごと全て削除してください。

●MonitorMouse for Macintosh の削除

システム・フォルダ内のコントロールパネル・フォルダ内の「Touchscreen」を削除して下さい。

付録C　PC-98 シリーズをご使用のお客様へ

NEC PC-9821 X シリーズでは、システム設定を変更しなければ「MonitorMouse」が動作しない場合があります。

「システムセットアップメニュー」（［HELP］キーを押下しながら、電源を入れると表示されます）の「動作環境の設定」から「２ｎｄ　ＣＣＵ」を選択し、この設定を確認してください。

「MonitorMouse for Windows」を御使用の場合は、この設定を「使用しない」に設定すると、MonitorMouse の動作が可能となります。

「MonitorMouse for WindowsNT」または「MonitorMouse for Windows95」を御使用の場合は、この設定を「使用する」にしてください。

また、WindowsNT では、この「２ｎｄ　ＣＣＵ（チャネル 2）」を制御する「Serial 2」デバイスが動いていると、MonitorMouse が動作しないことがあります。
コントロールパネルの「デバイス」を起動させ、「Serial 2」を選択し、「スタートアップ」ボタンを押し、初期設定で選択されている「自動」を「無効」に変更してください。設定後にはシステムを再起動させてください。
チャネル 2 はタッチパネルで使っている限り、無効にしても支障はありません。

付録D　トラブル・シューティング

お客様のご利用環境によっては、セットアップ時に特別な注意が必要になることや、システム装置に特有の障害が存在することがあります。
それぞれのフロッピーディスク中の README ファイルには、様々な障害の回避方法やヒント、注意事項などを記述しております。何らかの障害が発生した場合には、README ファイル中に関連した情報がないか確認いただくことを強くお奨めいたします。

●ハードウエアとソフトウエアの障害切り分け方法

タッチが効かないときは、まず、原因がタッチパネルのハードウエアにあるのか、ソフトウエアにあるのかを切り分ける必要があります。

＊2 台以上ご購入になられているお客様
タッチパネル（モニター）だけ交換したり、コントローラだけ交換してみてください。交換先に障害が追従する様であれば、ハードウエアが原因です。

＊ 通信の確認（シリアルポートに接続している場合）
Windows に添付されている通信ソフト「ハイパーターミナル」で、シリアルポートに信号が来ているか確認してください。
注）タッチパネル・ドライバ（MonitorMouse）の接続設定がされていないポート、または、ドライバを外した状態で行ってください。ドライバが動作していると、他のアプリケーションとコントローラとの通信を行うことができません。

１）スタートメニューの「アクセサリ」から、「ハイパーターミナル（HYPERTRM.EXE）」（Windows3.1 では「ターミナル」）を起動します。
２）接続方法を「Com x にダイレクト」（「x」はコントローラを接続しているポート番号）にセットしてください。（シリアルポートをあわせれば、後はデフォルトでかまいません。）
３）ここで「接続できません」というメッセージが表示された場合、ポートが設定されていないか、または、そのポートに他の周辺機器（モデムや他社製タッチパネル等）のドライバが設定されている可能性があります。
４）画面にタッチすると、文字化けはしていますが、データが来ているかどうかは判断できます。何の変化も無い場合、接続がうまくいっていないか、コントローラが故障している可能性があります。

付録E　ソフトウエア・サポート

タッチパネル・サポート・センターでは、タッチパネル用ソフトウエアのご使用に関しての疑問点、障害などに対してのアドバイスをお客様に提供させていただきます。

●障害などの問題に対してのお問い合わせ

障害の対応は、基本的に FAX または E-Mail で行っております。
電話での対応よりも FAX、E-Mail の方が、より正確な、より迅速な、より効率的な対応を望めます。また、対応内容が記録として残りますので、後々のお問い合わせにもスムースな対応ができます。

次頁に記述しております必要書類をタッチパネル・サポート・センター宛てに FAX、E-Mail でご送付ください。お客様の連絡先（電話番号と FAX 番号または E-Mail アドレス）もお忘れなくお書き添えください。

タッチパネル・システムズ株式会社　タッチパネル・サポート・センター

受付時間	10:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）
FAX 番号	045-478-2181
E-Mail	tsc @ tps.co.jp

何卒、御協力の程、お願い申し上げます。

●ソフトウエア・サポートの制限事項

タッチパネル・サポート・センターのサポートできる範囲は限られております。

1．金額的なお問い合わせや交渉に対する回答はできません。
製品についての金額および見積もりなどに関しましては、代理店または弊社営業担当にお問い合わせいただけるようお願い致します。

2．障害の対応においても、お客様への出張は行っておりません。
各お客様への対応を迅速に行う為、障害等の対応においても、お客様への出張によるサポートは行っておりません。

●お問い合わせ時の必要書類

お手数ですが、弊社まで以下の必要書類をＦＡＸでご送付ください。

１．障害内容

お気づきになられた点なども出来るだけ詳しくお書きください。

２．システム環境記入シート

巻末の書式にご記入ください。

特に、タッチパネル・コントローラの型番とタッチパネル・ソフトウエアの情報は必ずご記入いただけるようお願いいいたします。

＜MonitorMouse for Windows95 **の場合**＞

３．以下のファイルのリスト

AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、SYSTEM.INI

４．「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行...」で「REGEDIT.EXE」**（レジストリ・エディタ）を起動し、以下のキーの内容を出力して添付してください。**

¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Services¥VxD¥MonMouse

¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Services¥VxD¥MonMouse¥Touchscreen00

５．コントロールパネル「Touchscreen」**の状態（すべてのボタンが押せますか？）**

６．コントロールパネル「Touchscreen」**の「設定」の内容**

＜MonitorMouse for WindowsNT の場合＞

３．「コントロールパネル」の「デバイス」での、「Monmouse」の状態とスタートアップの種類

４．「管理ツール」の「WindowsNT 診断プログラム」を起動し、メニューバーより「レジストリ・エディタ」を起動（WindowsNT4.0 では「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」で「REGEDIT.EXE」を実行）し、以下のキーの内容を出力して添付してください。

¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥Monmouse

¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥Monmouse¥Parameters

５．「イベントビューア」に「Monmouse」に関するログが残っていれば、そのメッセージ内容

６．コントロールパネル「Touchscreen」の状態（すべてのボタンが押せますか？）

＜MonitorMouse for Windows の場合＞

３．以下のファイルのリスト

AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、SYSTEM.INI

WINA.BAT（ＰＣ９８の場合）、WINSTART.BAT（もし存在すれば）

４．AUTOEXEC.BAT で起動される「ELODEV」および「MONMOUSE」の起動メッセージ

５．マウス・ドライバ「MOUSE.COM」のバージョン

６．コントロールパネル「Touchscreen」の状態（すべてのボタンが押せますか？）

＜MonitorMouse for OS/2 の場合＞

３．以下のファイルのリスト

CONFIG.SYS

４．CONFIG.SYS で起動される「MONMOUSE」の起動メッセージ

＜MonitorMouse for Macintosh の場合＞

とりあえず１、２をご送付ください。

システム環境記入シート

システム装置

メーカー		モデル		形式	□DOS/V □PC98 互換 □その他

ＯＳとそのバージョン

□MS-DOS （ver. ） □Windows（ver. ） □Windows NT（ver. ）
□Windows 95（ver. ） □Windows 98（ver. ） □OS/2（ver. ）
□漢字 Talk（ver. ） □その他（ ver. ）

モニター

メーカー		モデル		サイズ	インチ

ディスプレイ設定（解像度、デバイス等）

拡張機器・拡張ボード等のメーカー名、モデル、用途

拡張機器・ボード	メーカー	モデル	用途

アプリケーション、常駐ドライバ・ソフト等のメーカー、バージョン、用途

アプリケーション	メーカー	バージョン	用途

タッチパネル・インターフェイス（コントローラ）の型番

□出荷時設定のまま	□設定を変更（ ）

タッチパネル・ソフトウエア（ディスケットに表示されている情報）

タッチパネル御利用目的（開発がある場合には、言語もお書きください）

MonitorMouse ユーザーズ・ガイド

2000 年 7 月 10 日　　第 7 版発行

タッチパネル・システムズ株式会社

http://www.tps.co.jp

Copyright (C) Touch Panel Systems K.K.
All right reserved.
Printed in Japan.

本製品及びマニュアルの一部または全部の無断転載、無断複写を禁止致します。
当マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

MonitorMouse は米国 Elo Touch Systems 社の登録商標です。
会社名及び製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。